安全データシート

① 化学品及び会社情報

製品名	：	研磨ベルト アルミナ 幅100㎜ 長さ915㎜
会社名	：	株式会社MonotaRO
所在地	：	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183　リベル3階
担当者名	：	商品お問合せ窓口
電話番号	：	0120-443-509
FAX 番号	：	0120-289-888
緊急連絡先	：	所在地と同じ
作成日	：	2015 年 3 月 10 日
変更日	：	2026 年 3 月 26 日
整理番号	：	M261026

② 危険有害性の要約

危険性：危険性は極めて低い。

有害性：研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。

研磨作業中に発生する粉じんを吸収すると健康障害を起こすことがある。

環境影響：研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

【GHS 分類】

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（吸入：肺）

【ラベル要素】

■ 絵表示



■ 注意喚起語

危険

■ 危険有害性情報

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復ばく露（吸入）による肺の障害

注意書き：予防策、応急措置、保管、廃棄については、下記の項を参照

③ 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分　：　混合物

	名称	化学式又は構造式	CAS 番号	化審法番号	含有量(%)
物質の特定(混合物)	酸化アルミニウム	Al_2O_3	1344-28-1		25～45
	炭酸カルシウム	$CaCO_3$	471-34-1	1-122	5～20
	合成氷晶石	Na_3AlF_6	13775-53-6		1～10
	樹脂硬化物		なし		15～30
	基材(綿布)		なし		15～35
接着剤	一次塗装	合成樹脂＋無機質充填剤			
	二次塗装	合成樹脂＋無機質充填剤			
	ｵｰﾊﾞｰｻｲｽﾞ	合成樹脂＋無機質充填剤			

④ 応急処置

眼に入った場合

多量の水で直ちに眼を洗い流す。　直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合

汚染部位を石鹸と水で洗う。

吸入した場合

徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。

徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

適用しない。

応急処置に関する特記事項

応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。

⑤ 火災時の措置

消火方法

ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。

消火剤

水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤

火災時の処置に関する特記事項

適用しない。

⑥ 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業者は適切な保護具を着用し、粉塵の吸引や、眼、皮膚への接触を避ける

環境に対する注意事項：粉塵ごみを河川などに排出、または環境に放出させない事
除去方法　　：粉塵を掃き集めて回収、または回収装置にて回収
　　粉塵の拡散を防止すること

⑦ 取り扱い及び保管上の注意

技術的対策　　：空気中の粉塵濃度を暴露限界値以下に保つため、排気用の換気を行い、
　　適切な呼吸保護用具、保護手袋、保護衣、安全靴などを着用する。
注意事項　　※落としたり、投げたり、転がしたりしない。
　　※直射日光に曝さない乾燥した場所で保管する。
　　※研磨作業中に発生する粉塵吸入を避ける。
保管　　換気のいい場所で保険する事。倒壊しない様積み方に注意。
使用注意事項
使用回転数　　：製品ラベルに表示されている最高使用回転数を超えて使用しない事
安全カバー　　：装置についている安全カバーは必ずつける事
異常音　　：使用中に異常音や移動振動が生じた場合、直ちに点検
過度な圧力　　：極端な荷重や圧力を加えた場合、蓄熱による破損
　　機械の故障等、事故につながる

⑧ 暴露防止措置

管理濃度・許容濃度

名称	化学式又は構造式	CAS 番号	管理濃度	許容濃度 TLV－TWA
酸化アルミニウム	Al_2O_3	1344-28-1	設定されていない	1mg/m^3
炭酸カルシウム	$CaCO_3$	471-34-1	設定されていない	設定されていない
合成氷晶石	Na_3AlF_6	13775-53-6	設定されていない	2.5mg/m^3(F として)
樹脂硬化物			設定されていない	設定されていない
基材(綿布)			設定されていない	設定されていない

設備対策

硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。
換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。 集塵装置を使用する。

保護具

呼吸保護具

切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。
汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。
半面防塵マスク、全面防塵マスク

保護眼鏡

サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。

⑨ 物理化学的性状

外観等　　：　砥粒を繊布に接着した研磨工具。
沸点／範囲　：　適用しない
融点／範囲　：　適用しない
蒸気圧　　：　適用しない
水溶性　　：　適用しない
比重　　：　適用しない
蒸気密度　　：　適用しない
蒸気濃度　　：　適用しない
ｐＨ　　：　適用しない
粘度　　：　適用しない
引火点　　：　適用しない
燃焼範囲－下限（%）　：　適用しない
燃焼範囲－上限（%）　：　適用しない
発火点　　：　適用しない

⑩ 安全性及び反応性

避けるべき物質　：　適用しない
有害な分解物　　：　通常の使用条件においては、有害な分解物の発生は予想されない。 しかしながら、火焔または極端な過熱により次の分解物を放出することがある。
一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・シアン化物・ホルムアルデヒド
安定性・反応性　：　安定。 危険な重合は起こらない。

⑪ 有害性情報

研磨作業時に発生する粉じんを長期的にわたり吸入すると、じん肺に罹るおそれがある。
構成純物質の有害性情報は別紙参照

⑫ 環境影響情報

残留性・分解性：知見なし
生体蓄積性　　：知見なし
土壌の移動性　：知見なし

	酸化アルミニウム 1344-28-1	合成氷晶石 13775-53-6
水生環境急性有害性	**分類できない**	**区分 2**
水生環境慢性有害性	**分類できない**	**区分外**

⑬ 廃棄上の注意

産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。
：該当法規に従って廃棄物処理を行う。

（国、都道府県並びに地方の法規・条例に従う。）

⑭ 輸送上の注意

：非危険物　輸送上の規制なし

特別安全対策

落としたり、投げたり、濡らしたりしない。

⑮ 適用法令

労働安全衛生法

・名称等を表示すべき危険物及び有害物：合成氷晶石（CAS 13775-53-6）

・名称等を通知すべき危険物及び有害物：合成氷晶石（CAS 13775-53-6）

・粉じん障害防止規則

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当しない

毒物及び劇物取締法：該当しない

⑯ その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データーに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム 1344-28-1	合成氷晶石 13775-53-6
物理化学的危険性		
火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高圧ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類対象外
可燃性固体	区分外	区分外
自己反応性化学品	分類対象外	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外	分類対象外
自然発熱性固体	区分外	区分外
自己発熱性化学品	区分外	区分外
水反応可燃性化学品	区分外	区分外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない
健康に対する有害性		
急性毒性(経口)	区分外	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	区分 4
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	区分外	分類できない
生殖毒性	区分できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)	区分 2(呼吸器,肝臓)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(吸入:肺)	区分 1(神経系,骨,歯,肺,肝臓,腎臓,胃)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない
環境に対する有害性		
水生環境急性有害性	分類できない	区分 2
水生環境慢性有害性	分類できない	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない
ラベル要素		
絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	警告
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害	吸入すると有害 眼刺激 臓器の障害のおそれ(呼吸器,肝臓) 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害(神経系,骨,歯,肺,肝臓,腎臓,胃) 長期継続的影響により水生生物に毒性